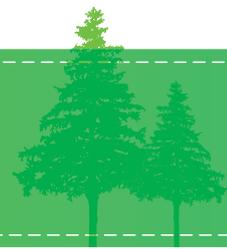


地球温暖化防止の取り組み



基本的な考え方

ミネベアグループでは、世界規模での課題となっている地球温暖化問題と、その影響によるエネルギー価格の上昇や異常気象の発生などが、事業活動の継続にも大きな影響を与えると考えています。

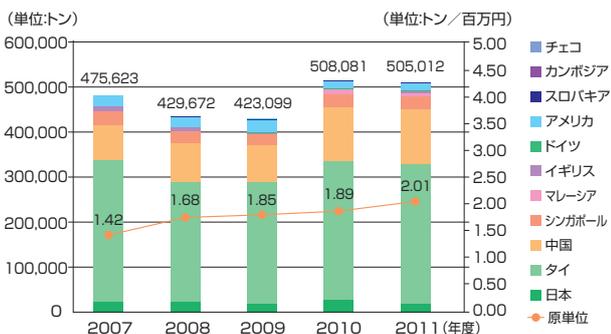
当社グループでは、地球温暖化問題に取り組むため、各事業所で積極的に省エネルギー対策を進めてきており、それぞれの代表的な対策を終えています。一方で、地球温暖化対策を全社的な活動へとステップアップするために、2010年1月に「省エネ推進部会」を発足させました。省エネ推進部会には全事業部より委員が選出され、これまでの活動で培ってきた知識、技術や省エネルギー対策の成功事例を共有しています。こうした事業部の知恵を横展開することで、地球温暖化防止に向け、グループ全体で取り組みを強化しています。

2011年度の取り組み結果

2011年度のミネベアグループ全体の総CO₂排出量は、505,012トンで、2010年度と比較して0.6%減少しました。一方、生産高原単位によりCO₂排出量をとらえた場合は、2.01トン/百万円で、2010年度より6.3%の増加となりました。この原因は、東日本大震災やタイでの洪水被害等により、2010年度に比べて生産性に悪影響を及ぼしたためと考えます。

また、2011年度はグループ全体の物流におけるCO₂排出量の把握に取り組みました。国内拠点で月ごとに把握するとともに、海外拠点においては航空、船舶物流についてのCO₂排出量を把握することができました。

▶ CO₂排出量推移(総量&原単位)



※製品輸送における排出量は含まれていません

事業所における取り組み

●東日本大震災後の電力不足への対応(日本)

2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東日本地域での電力不足が深刻な課題となりました。これに対応するため、ミネベアグループでは東京電力株式会社管内に所在する藤沢、松井田、大森の各工場、東京本部、営業所などにおいて積極的に節電に取り組みました。

以下にその一例を紹介します。

- ① 昼の生産を夜間にシフト
- ② 照明の間引き
- ③ 昼の電力ピーク時のエアコンの停止、消灯
- ④ 事務所内の業務エリアを集中し、エアコン使用エリアを縮小
- ⑤ ポロシャツなど涼しい作業服の着用
- ⑥ 植物による窓辺の緑のカーテン



緑のカーテンによる節電の取り組み(藤沢工場)

今後の目標・課題

ミネベアグループでは、2010年度を基準として、2015年度までにCO₂排出量を生産高原単位で毎年1%、合計5%削減する計画です。また、2012年度目標として、グループ全体の物流におけるCO₂排出量を定期的に報告できるよう、システム等の仕組みを整備していきます。

2030年、2050年といった将来の長期的な展望としては、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)や各国の政策などを注視し、地球温暖化防止の取り組みを進めていきます。